

●パラナ州治安情報（レーダー網を掻い潜る密輸機の暗躍）

5日付当地ガゼッタ・ド・ポーヴォ紙はボリビア、パラグアイからの密輸機が伯領空監視レーダー網を掻い潜りコカイン等の薬物、銃器が密輸されている旨報じています、概要を以下のとおりお知らせします。

1. 密輸機

航空機を使った密輸はコストは高いものの、伯公安当局に検挙される可能性が低く、頻繁に利用されるようになった。通常、密輸には小型プロペラ機が利用される。一般的に同機は平均高度1.2万から1.3万フィートを飛行するが、レーダーに感知されないよう高度200メートル以下を飛行する。伯領空を飛行する密輸機は最大積載量500kgの単発プロペラ機がよく利用され、一度に250kgから500kgのコカインを運ぶとされている。押収された密輸機の中には、伯領空において利用するために機体番号を偽装したもののものがあった。

2. 密輸ルート

(1) 航空機を利用した主なルート

密輸機は、伯中西部及び北部の国境を最も多く通過し、隣国からの薬物（主にコカイン）及び銃器をブラジル領土内に着陸せず投下する。多くはボリビアから航空機にて密輸されており、2011年には伯内において4機が押収されている。密輸機は伯領空を飛行し、国境から50キロから100キロ離れた地点に薬物及び密輸品を投下する。密輸された薬物及び密輸品は陸路にて主な目的地であるサンパウロ州、リオデジャネイロ州及びミナス・ジェライス州に運ばれる。輸送ルートとしては、3州の州道及び国道が最も利用される。直接サンパウロ州に向かう密輸機もあり、同州リベイロン・プレト市に向かう密輸機の多くはパラグアイからパラナ州の上空を通過する。

(2) パラナ州への密輸ルート

連邦警察にはパラナ州における航空機を利用した密輸の検挙記録は無い。しかしながら、パラナ州は密輸品搬送の通過地点となることが多い。パラナ州における主要な密輸ルートは、密輸機によるものではなく、パラナ州フォス・ド・イグアス市から同州グアイラ市に跨る直線距離にして170キロあるイタイプ湖を横断するルートであり、グアイラ市から目的地までの搬送は陸路にて行われる。

●パラナ州、サンタカタリーナ州、リオグランデドスル州における早魃被害

パラナ州、サンタカタリーナ州、リオグランデドスル州の市民保護局等が公表した早魃被害状況につき、次の通りお知らせします。

1. パラナ州市民保護局（10日付公表）

(1) 被害都市数：17市

バラコン、ボン・ジェズス・ド・スール、カパネマ、カピタン・レオニダス・マルケス、ノーヴァ・エスペランサ・ド・スドエステ、ピニャル・デ・サン・ベント、プランシタ、リオ・ボニト・ド・イグアス、サント・アントニオ・ド・スドエステ、ボン・スセッソ・ド・スール、ヴィトリノ、サンタ・イザベル・ド・オエステ、アンペレ、エネアス・マルケス、フロル・ダ・セーハ・ド・スール、ケダス・ド・イグアス及びサルガド・フィリョ

(2) 被害者数：94,035名

(3) 現在、右被害検証中のため、「緊急事態宣言」を発令した都市はない。

## 2. サンタ・カタリーナ州市民保護局（9日付公表）

### （1）緊急事態宣言都市：63市

アグアス・デ・シャペコ，アグアス・フリラス，アンシエッタ，バンデイランテ，ベルモンテ，ボン・ジェズス，ボン・ジェズス・ド・オエステ，カイビ，カンポ・エレ及びシャペコ他53市

### （2）被害者数：407，139名

（3）ジェラルド・アルトフ同州市民保護局長は、「同地域の早魃期間は本年3月まで継続し，緊急事態都市数は140市にも拡大すると予想されている。本件行動計画策定を目的とした調査が今週実施される」旨言及。

## 3. リオグランデドスル州

### （1）市民保護局（10日付公表）

#### （ア）被害都市数：178市（うち142市は「緊急事態宣言」を発令）

カンデラリア，クリシウマル，カサパヴァ・ド・スール，エस्पモゾ，サント・クリスト，サンタ・マリア，アグド，アホイオ・ド・チグレ，フレデリコ・ヴェスファレン，サンタ・クルス・ド・スール他132市

#### （イ）被害者数：627，172名

### （2）州政府（9日付公表）

9日，ベト・グリル同州知事代行は，同州に対する集団緊急事態（DECRETO DE EMERGENCIA COLETIVO）を発令した。

## ●パラナ州南西部地域における早魃被害：報道

11日付当地「ガゼッタ・ド・ポーヴォ」紙は，11月から発生している伯南部の早魃により、ブラジルの2011年／12年穀物生産が、前年同期比で2.8%減少する旨報じています，概要を以下のとおりお知らせします。

1. 10日，伯供給公社(CONAB)は，第4回2011／12年全国穀物生産量予測を発表し，右によると、今般の早魃の影響を受け、南部3州（パラナ州、サンタカタリーナ州、リオグランデドスル州）の予測生産量は前年比7.8%減の6,248万トンに止まり，伯全体では前年比2.8%減の1億5,845万トンとなる由である。

2. このうち、パラナ州及びリオグランデドスル州の予測生産量は、前年比で各々6.7%減及び10.8%減となる見込みである。

3. CONABにより発表された第4回11年／12年全国穀物生産量予測（一部抜粋）は，以下のとおり(単位：千トン)。

	10／11年	11／12年	増減率
ブラジル	162,957.9	158,446.5	▲2.8%
南部（南部3州）	67,740.6	62,476.0	▲7.8%
パラナ州	32,444.6	30,272.6	▲6.7%
サンタカタリーナ州	6,472.0	6,487.8	0.2%
リオグランデドスル州	28,824.0	25,715.6	▲10.8%
南東部	17,708.0	18,204.4	2.8%
中西部	56,866.3	57,861.9	1.8%
北部	4,645.3	4,401.4	▲5.3%

東北部

15,997.7

15,502.8

▲ 3.1%